

XP-002335289

(C) WPI / DERWENT

AN - 1986-066741 [10]

AP - JP19840140361 19840705

CPY - IGGI-N

DC - C03 D22 F09 L02

DR - 0755-U 1165-U

FS - CPI

IC - A01N25/34 ; D21H5/22 ; D21J1/08

MC - C05-A01B C05-A03A C06-D03 C06-D05 C10-C04C C12-A02C D09-A01 F03-C02B
F05-A07 L02-D05 L02-D07

M2 - [01] A429 C810 M411 M431 M782 M903 P002 P241

- [02] G010 G100 J0 J011 J1 J171 M280 M311 M321 M342 M372 M391 M414 M431
M510 M520 M531 M540 M782 M903 M910 P002 P241

- [03] D012 D711 F014 F710 M1 M116 M280 M320 M412 M431 M511 M521 M530
M540 M782 M903 M910 P002 P241

- [04] C116 D014 D611 H2 H211 H6 H601 H602 H608 H686 J5 J522 K0 K3 K353
K399 L9 L930 M280 M311 M321 M344 M362 M391 M412 M431 M511 M520 M530
M540 M782 M903 P002 P241

- [05] A313 A940 A960 C108 C550 C710 C720 C801 C802 C803 C804 C805 C807
G010 G019 G100 H4 H402 H442 H8 M280 M320 M411 M431 M510 M520 M532 M540
M630 M782 M903 P002 P241

PA - (IGGI-N) IG GIJUTSU KENKYUSHO KK

PN - JP61019900 A 19860128 DW198610 002pp

PR - JP19840140361 19840705

XA - C1986-028828

XIC - A01N-025/34 ; D21H-005/22 ; D21J-001/08

XP - N1986-048753

AB - J61019900 Mildew-proofing fibre board is obtd. by impregnating and
dispersing mineral fibre board, soft or hard fibre board with one or
more mildew-proofing agent and copper powder. The mineral fibre is
composed of rock wool, glass wool or gypsum whisker. Other fibre
includes organic fibre and metal fibre e.g. Fe or Al fibre. The
mildew-proofing agent used includes 2-(4-thiazolyl)- benzimidazol,
phenyl acetic acid, N-(fluoro dichloromethyl-thio) phthalimide,
modified N-(fluoro - dichloromethyl-thio) phthalimide, and
oxybisphenoxy alumin. Amt. of the mildew-proofing agent or copper
powder used is 0.05-1%. The generation of mildew is prevented owing
to redn. of humidity-absorbing properties and generation of dropwise
condensation. (2pp Dwg.No.0/0)

IW - MILDEW PROOF FIBRE BOARD IMPREGNATE COPPER POWDER MILDEW PROOF
AGENT

IKW - MILDEW PROOF FIBRE BOARD IMPREGNATE COPPER POWDER MILDEW PROOF
AGENT

NC - 001

OPD - 1984-07-05

ORD - 1986-01-28

PAW - (IGGI-N) IG GIJUTSU KENKYUSHO KK

TI - Mildew-proofing fibre board - is Impregnated with copper powder and
mildew-proofing agent

⑫ 公開特許公報 (A)

昭61-19900

⑤ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和61年(1986)1月28日

D 21 J 1/08

8418-4L

A 01 N 25/34

7215-4H

D 21 H 5/22

7921-4L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑬ 発明の名称 防カビ繊維板

⑭ 特 願 昭59-140361

⑮ 出 願 昭59(1984)7月5日

⑯ 発 明 者 滝 口 英 喜 東根市三日町2丁目8番13 株式会社アイジー技術研究所
内⑰ 出 願 人 株式会社 アイジー技 東根市三日町2丁目8番13
術研究所

明 細 書

1. 発明の名称

防カビ繊維板

2. 特許請求の範囲

(1) 鉱物繊維板、軟、硬質繊維板に防カビ剤、銅粉などの1種以上を含浸、分布等したことを特徴とする防カビ繊維板。

3. 発明の詳細な説明

本発明は鉱物繊維（ロックウール、ガラスウール）、A級、B級インシュレーションボード（以下、単にボードという）に防カビ剤を含浸、塗布等して結露の発生、調吸湿性の低下によるカビの発生を防止しうる防カビ繊維板に関するものである。

一般に、カビは湿気と適度な温度を有する環境下、例えば外壁材と躯体間に使用する断熱材、下地材に最近の断熱構造と相まって大幅に発生し、プラスチック、木材、繊維等を変色、劣化、あるいは腐食させたりする欠点があった。

本発明はこのような欠点を排除するため、防カ

ビ剤、特に銅イオンを含有する金属粉、防カビ剤の1種以上をボードの表面、繊維間、バインダ材内に添加して性能劣化のない、しかも所期の特性を十分に維持し、他部材の腐食をも阻止しうる防カビ繊維板を提案するものである。

以下に本発明に係る防カビ繊維板について詳細に説明する。本発明において繊維板とは鉱物繊維板（ロックウール、ガラスウール、石膏ウイスキー）、金属繊維（Fe、Al）、有機繊維（A級インシュレーションボード、B級インシュレーションシーティングボード、木毛セメント）等の1種からなるものである。その大きさは900mm（幅）×1800mm（長さ）×5～20mm（厚さ）位である。また、防カビ剤としては2-（4-チアゾリル）-ベンツイミダゾール（略称TBZという）、フェニル酢酸、N-（フルオロジクロロメチルチオ）フタルイミド（バイエル社製、略称プレベントールA₃）、プレベントールA₃を改良したプレベントールAと10-10-オキシビスフェノキシアルミン（略称バイナジンでアメリカ、ベントロ

ン社製)、銅イオンを含有する粉末、液体の1種からなり、繊維板(フェルトも含む)に含浸、コーティング、接着剤に対する添加による混入などで繊維板内に存在せしめるものである。その添加量は全重量に対して0.05~1%を混入するものである。

次に実施例につき説明する。

A級インシュレーションボードにTBZを0.5%含浸させたもの、TBZを上記ボードに全く含浸させないボードの2種類のサンプルを準備し、これに対しカビ抵抗性試験法M-20で試験した。その結果、実施例ではカビが全く発生せず、比較例では多く見られた。

以上説明したのは本発明に係る防カビ繊維板の一実施例にすぎず、上記ボードの表面に防カビ剤入り塗膜を形成した防カビ繊維板、あるいは防カビ剤入りシートを貼着した防カビ繊維板も含むものである。勿論、白アリなどの防虫剤を含浸させることもできる。

上述したように本発明に係る防カビ繊維板は下

地材として腐食したり、性能が低下したり、変色、劣化することもなく、所期の性能を長期に亘って維持できる特徴がある。

特許出願人 株式会社アイジー技術研究所

